

本日の新規陽性者数は770名、直近1週間の人口10万人当たりの新規陽性者数は639.41人となっております。

一方、5月1日時点の県全体における病床使用率は35.6%、先週日曜日と比較しますと12.2ポイント減少し、4月28日以降は30%台で推移しています。

圏域別では、本島圏で41.2%となっており、前週比11.8ポイント減少するなど、ここ数日は病床使用率は下がる傾向が見られます。これは、高齢者等の入院者数の減少により、病床使用率が改善しているものと思われます。

しかし、重点病院における、新型コロナ以外の病床使用率は5月1日時点で90.2%となっており、新型コロナ以外の病床使用率は依然として高い状況が続いております。今後、更に病床ひっ迫が進まないか、警戒が必要です。

ゴールデンウィーク期間中は医療機関や検査機関の多くが休業しており、日々の報告だけでは全体の状況を把握することは難しい状況ですが、1週間単位で感染状況を見てみますと、これまでと同様に10歳未満や10代において感染拡大が続いていることから、引き続き現在の対処方針により対策を進めることとしております。

ただし、連休前半は天候に恵まれた日もありましたので、人流の増加や家族間の活発な交流により、新規陽性者数は今後増える可能性があります。

そのため、子どもたちやその家族から、高齢者に感染が拡がらないか、今後も年齢階級別の動向をしっかりと注視する必要があります。

さて、今年のゴールデンウィークも後半にさしかかっております。連休後の感染拡大を抑えるためには、連休期間中における県民一人一人の過ごし方が重要となります。

そのため、

- ・症状のある方は外出を控える、人に会わない
- ・イベントの後など、大人数での食事会をしない
- ・高齢者の自宅を訪問したり、一緒に食事をする方を限定する
- ・リスクのある行動をとる前に、検査で陰性を確認する を徹底して下さい

沖縄へ旅行や帰省等で訪問を予定している皆さま、事前に3回目のワクチン接種を完了するか、居住する都道府県で行う無料PCR検査を受検し、事前に陰性を確認してからお越し頂き、安心な旅行をお楽しみ下さい。

県では、来県前に検査が受けられない方のために、那覇空港、宮古空港、下地島空港、新石垣空港、久米島空港で到着時にPCR等検査を受検できる体制を整備しており、各空港とも検査枠を拡充しておりますので、ご活用下さい。

来訪者を受け入れる事業者や帰省等で親族を迎えるご家族についても、来県前にワクチン接種の完了または陰性を確認するよう、呼びかけるようお願いいたします。

イベントに参加する際は、主催者からの要請を必ず守り、基本的な感染対策を徹底した上でご参加下さい。イベント参加後は寄り道せず、帰宅するようにしましょう。

また、ビーチパーティ等の多人数会食は控え、4人以下、2時間以内を徹底して下さい。飲食店を利用する際は、感染対策が行われている「感染防止対策認証店」の利用をお願いいたします。

子どもの感染拡大は続いています。

ご家庭で体温測定を行い、子どもに体調異変がないか確認する等、基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。

特に、連休中は学校が休みのため、屋内で子どもたち同士が部屋に集まる機会も多いと思います。その際、部屋においてはこまめな換気や密集することを避けるようにしましょう。

また、部活動や習い事後でマスクを外した食事や会話等の感染リスクが高まる行動は控えてください。

連休中は休業する医療機関が多く、新型コロナ患者に対応している重点医療機関への相談や救急受診が集中しており、待ち時間が4時間を超えるなど厳しい状況となっております。

発熱等の症状がある場合は、まずはかかりつけ医にご相談下さい。相談する医療機関に迷う場合は、24時間対応の県コールセンターにご相談下さい。

なお、小さい子どもの急な病気や対処判断に迷ったときは、小児救急電話相談（＃8000番）までご相談下さい。土日・祝日は24時間対応しています。

受診までに時間を要することから、ご家庭で経過観察をしていただくこともあるため、事前に市販のお薬を準備していただくことをお勧めします。

新型コロナウイルスに感染していないか不安があり、検査を受けたい場合は、民間PCR検査センターを受検下さい。

なお、無料PCR検査を5月31日まで延長しておりますので、県ホームページに掲載された検査機関リストをご活用下さい。

妊婦は新型コロナウイルスに感染すると、重症化リスクが高まる可能性が報告されており、3月下旬から4月27日までに340人の新規感染が確認されるなど、妊婦への感染拡大が続いております。妊婦やその同居する家族等だけではなく、私たち県民全体で感染拡大を抑えましょう。

ワクチン接種は、5月1日時点で、沖縄県では、全人口の39.6%、全高齢者の81%、全国では、全人口の53%、高齢者の87.6%へ3回目接種が行われており、接種を推進するため、特に若年者の方に対して、更なる取組みを行う必要があると考えております。

このため、去る4月30日、県では、サンエー那覇メインプレイス内で、ワクチン接種を行いました。

当日の接種人数は、3月、4月に行った那覇クルーズターミナルの接種数に比べ最多の499人となっており、予想以上の効果があったものと考えております。

5月14日にイオンモール沖縄ライカムへ出向いて接種をする予定であり、詳細は後ほどお知らせします。

若い方の中には、ワクチンを打つより実際に感染して免疫をつける方がいいと考える方もいるようですが、自然に感染するよりもワクチン接種の方が、新型コロナウイルスに対する血中の抗体化が高くなるとの報告があることが、厚生労働省のQ&Aにも記載されています。

県では、新規陽性者数の多い年代や重症化リスクの高い年代等へのきめ細かい対策を行い、医療のひっ迫を防ぐためにも、ワクチン接種のさらなる推進に取り組んでまいりたいと考えております。

ゴールデンウィークも本日を含め、残り1週間となります。県民の皆さまにおかれましては、3年振りとなります、行動制限のない連休期間をご家族やご友人、親戚、知人の方々と楽しくお過ごしかと思います。

しかし、お一人お一人が今、基本的な感染対策を怠ってしまいますと、連休後に感染者が急増する可能性があります。

そうならないためにも、県民一丸となって引き続き、感染防止に取り組んでいきましょう。宜しくお願いします。